

- 3 就学前の教育は生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであり、幼児教育の質の向上に取り組むことは、幼稚園等から小学校への円滑な接続の実現に繋がることから、部局間の連携が必要と考えるが、どのような課題意識を持っているのか。また、今後どのように進めていくのか。

答弁

幼児教育アドバイザーを配置し、公立幼稚園の実態把握に加え、幼稚園等からの要請による指導・助言など、経験と専門性を生かした支援をして参りたいと考えている。

また、各部局が連携した幼児教育の推進体制を構築するため、市町村や幼児教育施設への助言、研修機会の提供等を行う「幼児教育センター」を設置する都道府県の情報収集を行い、京都府として果たすべき役割や関係機関との連携の在り方を検討していきたいと考えている。

- 4 若いうちからライフデザインを描くことや地域コミュニティの希薄化、親の孤立化が問題視される中、本府は、学校連携型小中学生乳幼児ふれあい事業に取り組んでいるが、ライフデザインを学び考える機会の創出における課題と取組方策について、所見を伺いたい。

答弁

今年度から、議員御紹介のように、舞鶴市においてNPOが中学校舎内で子育て広場を実施されている先駆的事例を参考に、赤ちゃん連れの親子と児童・生徒が自然に学校の休み時間等に図書室や多目的室で交流する機会をつくる「学校連携型小中学生乳幼児ふれあい事業」に取り組むこととしている。こうした各年齢層に応じた体験を通じて、家族の大切さや子どもを産み育てることについての理解を深め、若い世代が自らのライフデザインを考える機会をつくってまいりたいと考えている。



3/18
子育てひろばさんの先進的な取り組み
@城北中学校を見させていただきました。

舞鶴発の取り組みが
府政に反映される好事例

地域力・市民力が
令和の時代のキーワード
になると実感しています。



2. 大規模災害への防災・減災対策について

- 1 巨大地震や大型台風など大規模広域災害の発生が予想される中、本府には、関西広域連合や自衛隊等と連携した防災訓練の実施など、防災・減災体制に強みがある一方、国の応援機関の専用スペースとなる危機管理センターが常設されていない等の課題もあるが、関係機関等との連携による取組状況及び課題への事前対応について、所見を伺いたい。

答弁

議員御指摘のとおり、災害が広域化、激甚化する状況の中、府の受援体制の一層の強化が必要であり、応援機関の活動スペースやリエゾンルームなども備えた危機管理センターの常設を検討して参りたいと考えている。昨年4月、ヘリコプターを保有する京都府警、京都市消防局、陸上・海上自衛隊、海上保安庁、近畿地方整備局に御参画いただき、京都府航空運用調整会議を設置して、京都府災害対策航空運用調整マニュアルを策定し、災害時の航空活動による円滑な救助体制を整えたところ。今後、防災訓練等を通じてヘリコプター運用調整の習熟を図り、実効性を高めていくこととしている。

3. 京都舞鶴港振興について

- 1 物流の発展こそが道路等のインフラ整備、雇用、企業誘致等の地域経済の発展に繋がると確信しており、港湾振興には物流が重要と考えるが、物流のソフト・ハード整備における課題と進捗状況、今後の展望についてはどうか。

答弁

短期的対応として、舞鶴国際ふ頭にある未利用地をコンテナターミナルとして整備することとしており、これについては今年度中の供用を目指しております。あわせて、今年度は、舞鶴国際ふ頭のⅡ期整備に向けた準備として、現地調査や概略設計等に取り組み、増加する貨物に対応したふ頭の拡張整備について検討していくこととしております。

- 2 国のクルーズ船受入促進事業の対象に舞鶴港が選定され、大型クルーズ船から富裕層が乗る小型まで様々な船の寄港が予定されている。利便性や観光客の満足度を高めリピーターを増やし、観光消費額を上げるためには、更なる基盤整備が必要と考えるが、京都舞鶴港での待合・観光拠点施設「海の京都駅(仮称)」の整備状況はどうか。

答弁

現在は、C I Q専用スペースや待合スペースを確保し、観光案内や物販等にも活用できるよう、貨物上屋を旅客ターミナルに改築する工事を進めており、今年度中には概ね全ての床面積が利用できるようになる見込み。今後、日本、中国、韓国、ロシアの関係諸港とも連携し、アジアの地中海ともいえる新たなクルーズ市場を構築できるよう取り組んでまいります。

所属委員会の決定

危機管理・建設交通常任委員会 副委員長
持続可能な地域社会に関する特別委員会
に所属することになりました。

さらに、この度は、新総合計画に関する特別委員会の委員となり、概ね20年後(2040年)に実現したい京都府の将来像について提言等をさせていただき、改めて府議会の場に立たせていただいていることに感謝した次第です。

おはら舞の活動のひとコマ

現地現場主義をモットーに!



今日も元気で
おはようございます!
いってらっしゃい!! @中舞鶴交差点



共楽公園に芝桜の絨毯を!
ウェルカムフラワーの
取り組みに参加。



田井 水ヶ浦



多門院

おはら舞 納涼の集い 2019ご案内

皆様と楽しく交流を深めさせていただきたく、ご参加を心よりお待ちしております。

日時 2019年9月1日(日)
17:30~(受付/17:00)

会場 商工観光センター5階(コンベンションホール)
舞鶴市浜66番地 TEL:0773-64-6800

会費 男性/4,000円 女性/3,500円

※参加ご希望の方は、事前に、
おはら舞事務所(TEL:0773-77-0071)まで
ご連絡をお願いいたします。

【おはら舞 プロフィール】

- 1974年7月10日 京都府舞鶴市生まれ
- 中舞鶴幼稚園卒園・新舞鶴小/青葉中卒・東高卒
関西学院大学法学部卒業・京都大学大学院法学研究科修了(法学修士)
/財団法人 松下政経塾入塾
- 元衆議院議員、元NPO法人舞鶴市女性センターネットワークの会事務局長、元オハラ庭園植木職人(造園施工管理技士2級)、元海上自衛官
- 現在 京都府議会 危機管理・建設交通常任委員会 副委員長/
持続可能な地域社会に関する特別委員会 委員/

事務所
連絡先

ホームページ公開中!
ブログ、フェイスブックも
ご覧ください。



おはら舞後援会事務所

〒624-0913 京都府舞鶴市上安久223-4
事務所開設日/
毎週月~金曜日(祭日、お盆、年末年始を除く)
10時~16時
TEL 0773-77-0071 FAX 0773-77-0072
E-mail: info@oharamai.jp

ブログ:おはら舞活動日誌 <http://oharamai.seesaa.net> H P: <http://www.oharamai.jp/>

